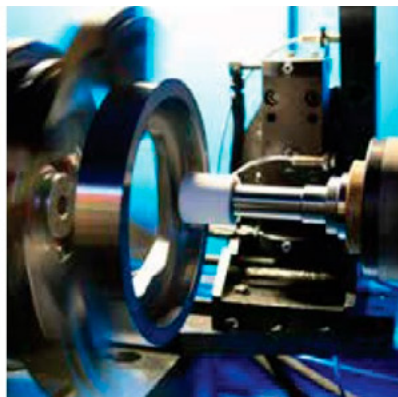


シングルラインオイルポンプ MCU2-xシリーズ

オイル用
SKFモノフレックスシングルライン集中潤滑システム用



！ ご注意

SKF の各製品はこのカタログ、又は、他の資料で説明した目的範囲外にて、使用しないで下さい。納入製品に取扱説明書が付いている場合、取扱説明書による指示に従うようにして下さい。

集中潤滑システムにおいては適応しない潤滑剤もあります。SKF は集中潤滑システムに対して潤滑剤の適応性を確認する為のテストサービスを提供いたします。

SKF の潤滑システム及びコンポーネントはガス、液状ガス、溶液による圧縮ガス、また、蒸気圧力が通常の気圧 (1013hPa) に対して最高許容温度の時 0.05Mpa を超える液体に対応しません。

危険性がある材料、特に EC Directive 67/548/EEC, Article 2, Par.2 による危険材料を使用する場合は、SKF からの証明書が必要です。



- コンパクトなデザインと容易な取付
- CEマーク
- ON/OFFボタン付

シングルライン潤滑システム用シングルライン潤滑ポンプ

製品のCADモデルは次のリンクからダウンロードできます：
skf-lubrication.partcommunity.com

一般情報

MCUシリーズは電動式ギアポンプ、オイルタンク（2/5 L）、圧力の電氣的モニタリング用圧カスイッチ、下限のモニタリング用フロートスイッチ、圧力の目視モニタリング用圧力計で構成されます。ギアポンプユニットの中で圧カリリーフバルブとエア抜き弁も設置されます。ポンプをONにした場合、タンク内のオイルがギアポンプで引っ張られて、潤滑ライン及び圧カリリーフバルブ・エア抜き弁を通じてシングルライン分配器に供給されます。分配器は吐出口別で受けた潤滑剤を計量しており、潤滑点に供給します。ポンプがOFFにした後、集中潤滑システム内の圧力が開放されます。その時、分配器が新しい潤滑剤を受けます。そして、次の潤滑サイクルの準備が終了です。システムを設計する際にシステムにかかる負荷を考慮して下さい。必要な昇圧を確保するためにはポンプの容量をかかると負荷の1.5倍以上にして下さい。オイルのシステムを設計する際は

かかる負荷を確定するためにオイルの圧縮性（約1%）も考慮して下さい。

負荷の構成：

- 1) システムの分配器の合計した計量
- 2) その数字の+ 25%（安全マージン）
- 3) 主管の+ 1 cm³/m（膨張ロス）
- 4) オイルの圧縮ロス

それ以上の情報はSKFの専門家にお問い合わせ下さい。

試運転

製品を試運転させる前に全ての電気・油圧の接続を点検する必要があります。タンクは泡がない潤滑剤で充填する必要があります。含有されたエアが逃げられるようにギアポンプを約15分以内で運転させて下さい。潤滑剤内のエアはポンプの機能に大きく影響することがあり、潤滑異常と最終的にベアリングの不具合発生になる可能性があります。試運転する前には必ず集中潤滑システムのエア抜きを実行して下さい。

エア抜き方法：

- 主管先端を開いて、気泡のないオイルが出るまでポンプを運転して下さい。
- 特に計量が少ない分配器で潤滑ラインが長い場合、潤滑点に取り付けるまでに充填して下さい。

メンテナンス

1. 潤滑剤のレベルを確認して、必要であれば再充填して下さい。メーカーが用意した情報に応じた潤滑剤を使用して下さい。オイルを充填する場合は必ずフィルターを使用して下さい。
2. 機械を長い期間使用した後、配管接続の漏れをチェックして、各潤滑点から潤滑剤が出るかを確認するためにポンプを動作して下さい。

SKFのオリジナル予備品のみを使用して下さい。

注文番号の概要

注文番号	潤滑剤 オイル	吐出量 [L/min]	タンク容量 [L]	モータ電圧[xxx]*					電コネ				
				AC	AC	AC	AC	DC	1 電コネ	2 電コネ	圧力 スイッチ	レベル スイッチ	押し ボタン
MCU2-	•	0.2	2				•	•	•	•	•	•	5-6
11BAA1010+xxx-JP	•	0.2	2				•	•	•	•	•	•	5-6
MCU2-	•	0.2	2				•	•	•	•	•	•	5-6
11BAA1000+xxx-JP	•	0.2	2				•	•	•	•	•	•	5-6
MCU2-	•	0.2	5				•	•	•	•	•	•	5-6
11AAA1010+xxx-JP	•	0.2	5				•	•	•	•	•	•	5-6
MCU2-	•	0.2	5				•	•	•	•	•	•	5-6
11AAA1000+xxx-JP	•	0.2	5				•	•	•	•	•	•	5-6

*他の電圧はお問い合わせ下さい。

ポンプの概要



MCU2ポンプ、押しボタン無し、1個の電コネ付 (6-7ページ)

- 潤滑剤 20 ~ 700mm²/sのオイル
- タンク容量 2又は5 L
- 吐出量 0.2 L/min
- 吐出圧力 1.8 MPa ± 0.1 MPa
- 押しボタン 無し
- 電コネ 1個 (1/2"NPT)¹⁾

MCU2ポンプ、押しボタン有り、2個の電コネ付 (6-7ページ)

- 潤滑剤 20 ~ 700mm²/sのオイル
- タンク容量 2又は5 L
- 吐出量 0.2 L/min
- 吐出圧力 1.8 MPa ± 0.1 MPa
- 押しボタン 有り
- 電コネ 2個 (1/2"NPTと3/8" NPT)

¹⁾ 3/8" NPTを1個追加する場合はお問い合わせ下さい。

押しボタン有り・無しのMCU2 2L/5Lポンプ

押しボタン無し、1個の電コネ付



押しボタン有り、2個の電コネ付



押しボタン有り、5L MCU



仕様

ポンプ駆動電圧	AC 230, 200, 110 V, 100V 50/60 Hz*, DC 24V
吐出量	0.2 L/min
タンク容量	2 又は 5 L
タンク材質	樹脂、透明
吐出口	2ヶ所, M10x1, 左・右側
吐出圧力	1.8 MPa ± 0.1 MPa
環境温度	+10 ~ +40 °C
使用粘度範囲	20~ 700mm ² /s
潤滑剤	オイル(樹脂、NBR、銅合金に対応)
電コネ	1個、又は2個*
保護仕様	IP 54

フロートスイッチ (NO接点、下限時に開く)

最高動作電流値	Max. 0.5 A
最高動作電圧	DC 200 V, 10W

圧カスイッチ (NO接点)

作動圧力	1.4 ± 0.1 MPa
動作電流値	Max 2.5 A
接点容量	Max 30 VA
動作頻度	2 Hz

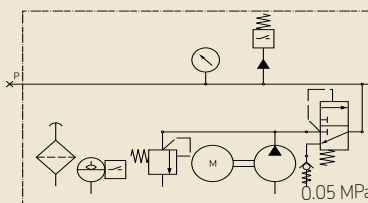
押しボタン (オプション) *

接点容量	6 A AC 125V, 4 A AC 250V
------	--------------------------

* オプションはお問い合わせ下さい。

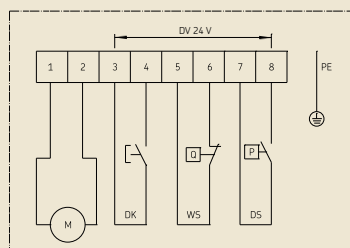
油圧系統図

図1



配線図 AC 230/200/110/100 V, 50/60Hz 及び DC 24V*

図2



WS = フロートスイッチ (満タン状態)
 DS = 圧カスイッチ
 DK = 押しボタン (オプション)
 M = ポンプモータ
 PE = アース

* 他の電圧はお問い合わせ下さい。
 * 押しボタンはオプションとして提供します。

注文番号

3・7ページを参照下さい。

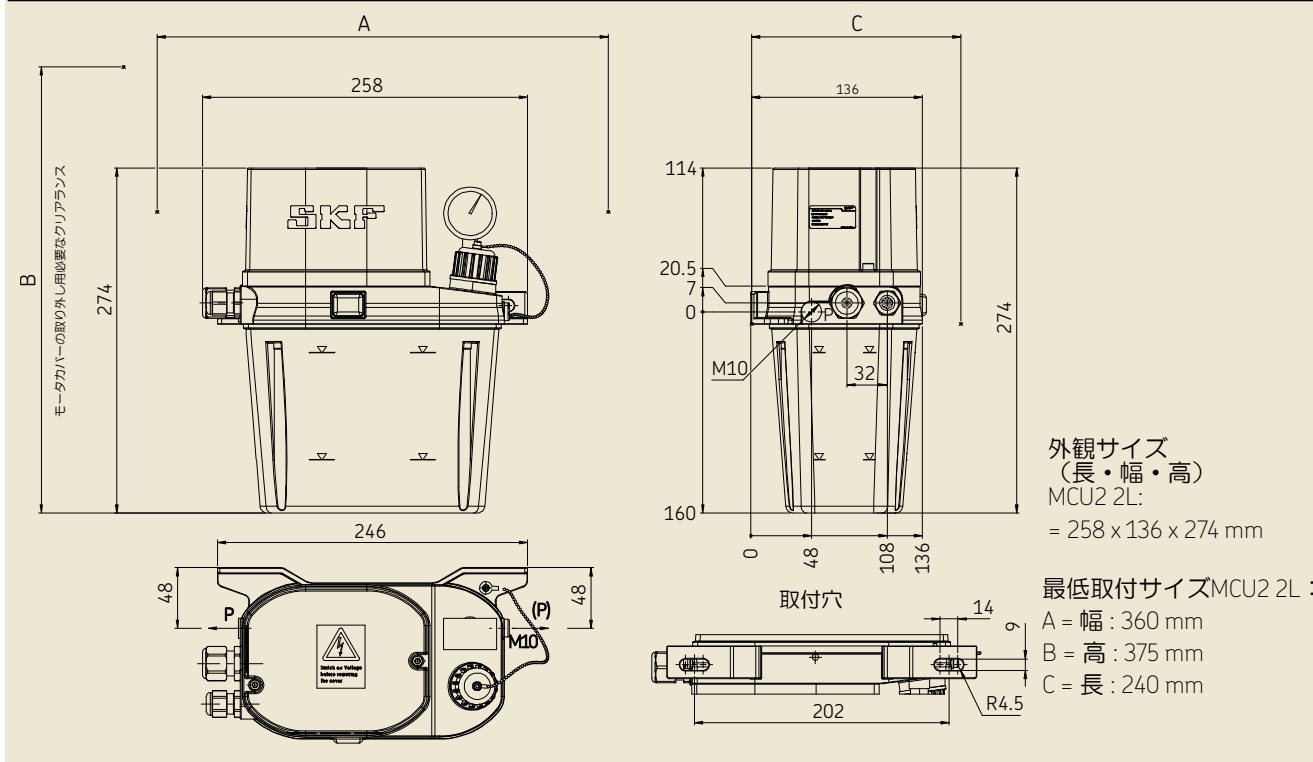
ご注意

4.5 MPa以上の油圧の場合はDIN 2353によるねじタイプ継手、又は、プラグコネクターを使用して下さい。

外観・取付サイズ

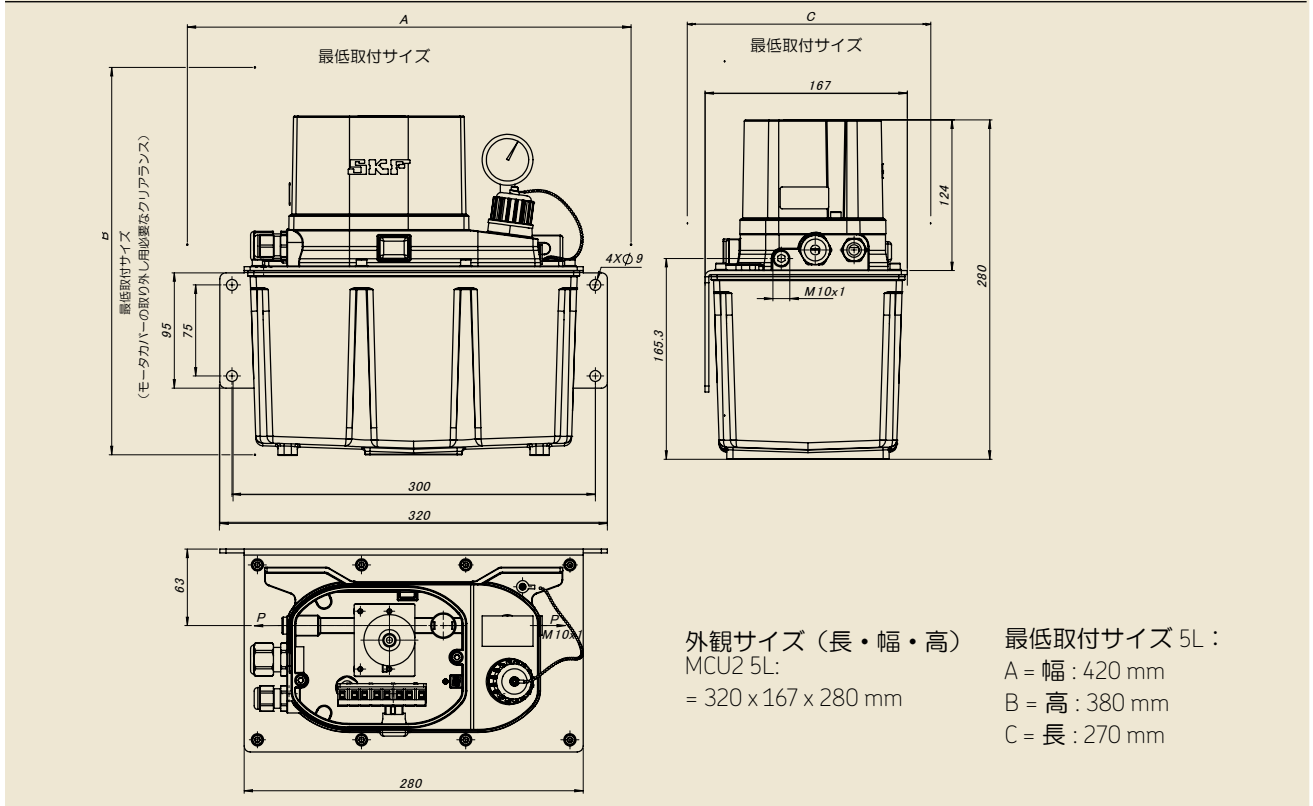
最低取付サイズとの概観サイズ MCU2 2L

図3



最低取付サイズとの概観サイズ MCU2 5L

図4



注文コード

MC U 2 - 1 1 A A A 1 0 0 0 + 428 - JP

製品シリーズMC

媒体
U = オイル

吐出量
2 = 0.2L /min

バージョン
1 = バージョン1

タンクサイズ
1 = 2L樹脂
2 = 5L樹脂

押しボタン
A = 有り(標準)
B = 無し

フロートスイッチ
0 = 無し
A = 有り

圧カスイッチ
0 = 無し
A = 有り

圧力計
0 = 無し
1 = 有り(MPa/bar)
2 = 有り(MPa/psi)

サーモスイッチ
0 = 有り

電気接続
0 = 2個の電コネ付
1 = 1個の電コネ付

既定
0 = 既定

電圧
434 = AC 100V, 50/60Hz
411 = AC 110V, 50/60Hz
436 = AC 200V, 50/60Hz
428 = AC 230V, 50/60Hz
924 = DC 24V

注文事例：

単相オイルポンプ、バージョン1、0.2 L/min、2L樹脂タンク付、押しボタン付、N0フロートスイッチ付、N0圧カスイッチ付、圧力計付(MPa/bar)、サーモスイッチ付、2個の電コネ付、AC 230Vのポンプの注文番号：
MCU2 - 11AAA1000 + 428-JP

! 製品の使用において重要な情報

SKFとリンカーンの潤滑システム及びコンポーネントはガス、液状ガス、溶液による圧縮ガス、また、蒸気圧力が通常の気圧(1013hPa)に対して最高許容温度の時0.05MPaを超える液体に対応しません。



skf.jp/lubrication

© SKFとLUBRILEANIはSKFグループの登録商標です。

© SKF Group 2021

この出版物の内容に関する著作権は発行者に帰属し、全てまたは一部を書面による事前許可なく複製または抜粋することを禁じます。この出版物に含まれる情報の正確性については最善の注意を払っていますが、ここに含まれる情報の利用によって、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる損失または損害について、弊社では一切責任を負わないものとし

PUB LS/P2 11218 JA · July 2021